



令和7年度 千葉県児童生徒・教職員科学作品展 一般公開

県内の児童生徒の科学工夫作品や科学論文、教職員による自作教具を展示する科学作品展を開催します。
皆様のご来場をお待ちしております。

期 日 令和7年10月18日（土）、19日（日）

時 間 9：30～15：30

会 場 千葉県総合教育センター

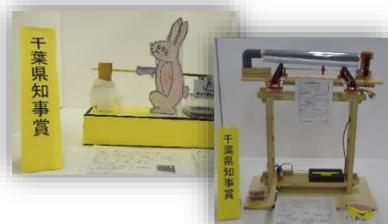
出展数 科学工夫作品、科学論文、自作教具 約650点

優秀作品は、10月8日（水）16時以降に、下記ウェブサイトでお知らせします。

昨年度の優秀作品

科学論文の部

科学工夫工作の部



お問い合わせ

千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部 科学技術教育班
電話 043-276-1184 FAX 043-276-4095
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13
<https://www.cgec.ed.jp/nc/sien/sakuhin>



※ 駐車場に限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
千葉県児童生徒・教職員科学作品展 一般公開のお知らせ	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
令和8年度千葉県公立高等学校 第1学年生徒募集定員の決定	3
オンライン授業配信(エデュオプちば)	4
子どもと親のサポートセンター事業案内 ① SNS相談 ②教育相談講演会2	5
令和7年度 かずさDNA研究所 開所記念講演会開催!	6
県内学校ミニ・ニュース(横芝光町立光中学校)	8
イベント情報(文化振興課より)	別冊
イベント情報(競技スポーツ振興課より)	別冊
国や県からの情報	別冊

千葉県立柏井高等学校が韓国姉妹校「井邑^{チョンウプ}女子高等学校」と交流しました!

千葉県立柏井高等学校では、県内に8校ある「国際的な学びができる学校」の一つとして、普通科に国際コミュニケーションコースを設置し、国際教育に取り組んでいます。

9月4日(木)・5日(金)の2日間、令和5年に姉妹校協定を締結した韓国の井邑(チョンウプ)女子高等学校の生徒たちと交流しました。

両校の生徒たちによるダンス披露やキーチェーン制作など、互いにコミュニケーションを楽しみながら充実した時間を過ごしました。

今回の交流により両校の友好関係が深まるとともに、生徒の異文化に対する興味・関心がより一層高まり、学習意欲の向上につながることができました。



最後にみんなで記念写真を撮りました



◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール : https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。(←ここをクリック)

令和8年度千葉県公立高等学校第1学年生徒募集定員について

令和8年3月の県内中学校卒業予定者数については、約5万1千900人で、前年と比較して420人の減を見込んでいます。

ここから定時制・通信制への進学見込み者及び県内私立高等学校、県外高等学校の全日制への進学見込み者等を除き、令和8年度公立高等学校全日制的課程の募集定員を2万9千40人と決定しました。学級数については、志願倍率の推移や学校の施設状況等を考慮し、合計21学級の減を行いました。

また、定時制の課程では、募集定員を1,360人とし、1学級の減を行いました。

なお、通信制の課程及び専攻科については、前年と同数となります。

区分	募集定員	学級数	備考
全日制	29,040人	726学級	840人減 (21学級減)
定時制	1,360人	34学級	40人減(1学級減)
通信制	500人		令和7年度と同数
専攻科	50人		令和7年度と同数

県立高等学校全日制的課程のうち、募集学級数を変更する学校の内訳

学区	学校名	学科名	募集学級数	備考
第1	千葉工業	電子機械科	2→1	電気科、情報技術科、工業化学科、理数工学科は変更なし
	千城台	普通科	8→7	
第2	八千代東	普通科	7→5	※
	八千代西	普通科	4→2	※
	船橋古和釜	普通科	6→5	
	船橋法典	普通科	6→5	
	船橋豊富	普通科	3→2	※
	船橋北	普通科	5→4	※
	行徳	普通科	4→3	
第3	松戸向陽	普通科	5→4	福祉教養科は変更なし
	鎌ヶ谷西	普通科	5→4	
	沼南	普通科	4→2	※
	沼南高柳	普通科	5→4	※
	野田中央	普通科	8→7	
第4	関宿	普通科	3→2	
第4	佐倉東	普通科	4→3	調理国際科、服飾デザイン科は変更なし
第5	銚子商業	商業科	4→3	情報処理科、海洋科は変更なし
第6	九十九里	普通科	3→2	

※は、「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム(案)」における統合対象校です。これら6校の募集定員は、プログラムが決定された場合を想定したものであり、決定次第、改めて公表します。

県立高等学校定時制的課程のうち、募集学級数を変更する学校の内訳

学区	学校名	学科名	募集学級数	備考
第2	船橋	総合学科	3→2	

各高等学校、各学科の募集定員など詳細については、ホームページを御覧ください。
ホームページアドレスは次のとおりです。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/press/2025/r8teiin.html>

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課高校改革推進室

自宅等から参加OK!

エデュオプちばで

双方向のオンライン授業を配信しています

オンライン授業配信 エデュオプちば とは？

県教育委員会では、不登校の状態となり、学校を長期に欠席している小学生(4~6年生)や中学生の皆さんに向けて、自分の教室にいなくても授業が受けられるオンライン授業「エデュオプちば」の配信を実施しています。
(令和7年度から、小学4~6年生までを対象に拡大しました。)

対 象

- 【小学生】県内の小学校に在籍する小学4年生、5年生、6年生または県内在住の小学4年生、5年生、6年生で、不登校の状態(※)にある方
- 【中学生】県内の中学校に在籍する生徒または県内在住の中学生で、不登校の状態(※)にある方
- ※目安として、30日以上欠席または、自分の教室で授業を受けられていない児童生徒(欠席の理由は問いません)

授業内容

オンラインによる双方向の授業
国語・社会・数学(算数)・理科・英語の5教科
※ダンスやヨガも実施しています。(年間15回程度)

学習場所

自宅・教育支援センター・フリースクール等

必要な物

- ・インターネットにつながるパソコンやタブレット
- ・申込専用メールアドレス

インターネットにつながる場所なら
どこからでも参加OK!
顔や声を出さずに
ハンドルネームで参加できます

リアルタイム 配信期間

長期休業期間を除く平日
※配信した授業を録画し、後から好きな時間に視聴できる
オンデマンド配信も実施しています。

申込方法

ちば電子申請サービスより申込
※保護者のメールアドレスで申請してください

オンライン授業配信の詳細につきましては、こちらをご覧ください。

県ホームページ

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/jisei/seitoshidou/eduopp-chiba.html>

⇒ 説明動画もあります。ぜひご覧ください!



チーバくん

【お問い合わせ先】

教育振興部児童生徒安全課不登校児童生徒支援室

E-mail : futoukou-shien@mz.pref.chiba.lg.jp

F A X : 043-221-6570

子どもと親のサポートセンターより

千葉県子どもと親のサポートセンターの事業について

◆相談窓口の紹介（SNS相談について）

◆教育相談講演会2の開催について

そつと悩みを相談してね！小中高生「SNS相談@ちば」

～ LINE 相談ご活用ください！ ～

- ◇対 象 小学校4年生～高校生まで／18歳以下の若者
- ◇実 施 日 毎週火曜日・木曜日・日曜日 18時から22時
- ◇相談方法 右の二次元コードをLINEアプリで読み取り、友だち追加してメッセージを送ると、専門のカウンセラーが相談に応えます。
- ◇毎日相談 令和8年1月4日（日）～12日（月）は毎日相談を実施。



SNS 相談
二次元コード

右の二次元
コードを読
み取る

「SNS 相談
@ちば」を友
だち追加

「LINE で相談
する」をタップ

左に書いてある手順
で登録できます。
気軽にご相談くださ
い！



千葉県子どもと親のサポートセンター
マスコットキャラクター「こさぼん」

令和7年度 休日開放事業 教育相談講演会2

講演：「児童相談所の実践から学ぶ子どもとのコミュニケーション」

わたなべ ただし

講師：東京都杉並区役所子ども家庭部 児童相談所設置準備課 参事 渡邊 直 氏

～講演会の後、個別相談会も実施します～

- ◆対 象 : 県民・教育関係者 等
- ◆開 催 日 : 令和7年11月22日（土）
- ◆会 場 : 千葉県総合教育センター 大ホール
- ◆時 間 : 9:30～12:00 【受付:9:00～9:25】
- ◆個別相談 : 13:00～【1ケース:25分】

※センター所員による個別相談を実施します。
※個別相談を希望される方は、参加申し込み時にお知らせください。
後日、内容・時間等を確認させていただきます。

- ◆申込方法 ①ちば電子申請サービス ②メール ③電話 ④FAX のいずれか

・電 話 : 043-207-6034 ・F A X : 043-207- 6041

・メール : saposoudan@chiba-c.ed.jp

※②～④でお申込みの際は下記の内容をお伝えください。

- (1)参加方法（対面 or オンライン）(2)氏名（ふりがな）
- (3)所属（教育関係者以外の方は「一般・市町村名」を明記）
- (4)連絡先（メールアドレス、電話番号）(5)個別相談希望の有無



①ちば電子サービス
二次元コード



千葉県子どもと親のサポートセンター
マスコットキャラクター
「こさぼん」

- ◆定 員 200名
- ◆参 加 費 無料

オンライン
視聴も可能

令和7年度

かずさDNA研究所 開所記念講演会 開催！

10月25日(土) 13:30~16:00

無料

かずさアカデミアホール (木更津市)

木更津駅から無料送迎バスあり アクセスの詳細は裏面へ

POINT 1 皆さんにも関心を持っていただきやすいテーマについて、著名な講師が講演します

13:50~14:50

講演Ⅰ：細胞の波が作る皮膚模様と体のかたち

講師：国立遺伝学研究所 所長 近藤 滋 氏



魚の模様はただの飾りではなく、生きて動き、成長とともに変化します。本講演では、熱帯魚の皮膚に模様が現れる仕組みと、それを応用した生物学実験を紹介します。模様の仕組みがわかれば、シマウマをキリンやヒョウの模様に変えることも、実は簡単なのです。

15:00~16:00

講演Ⅱ：植物遺伝子の働き~30年間の研究の変遷~

講師：京都大学 名誉教授 岡田 清孝 氏



私は30年前の第1回開所記念講演会で「植物の形を決める遺伝子」という演題で話をさせていただきました。本講演では、この30年間に植物の遺伝子の働きに関する研究がどのように発展してきたか、そして今後どのような方向に進むかについてお話しします。

POINT 2

閉会后、講師の方々との質問コーナーを設けます
研究内容に関する質問のほか、研究者を志した理由などを聞けるチャンスです！

会場参加の
高校生限定



昨年度の様子



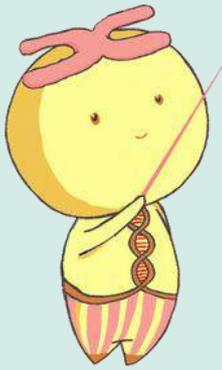
和気あいあい
講師の先生も
楽しそうでした

お申込みはHPから

〆切は10月6日(月)まで

お問い合わせ先：商工労働部産業振興課ライフサイエンス産業振興室 電話 043(223)2725

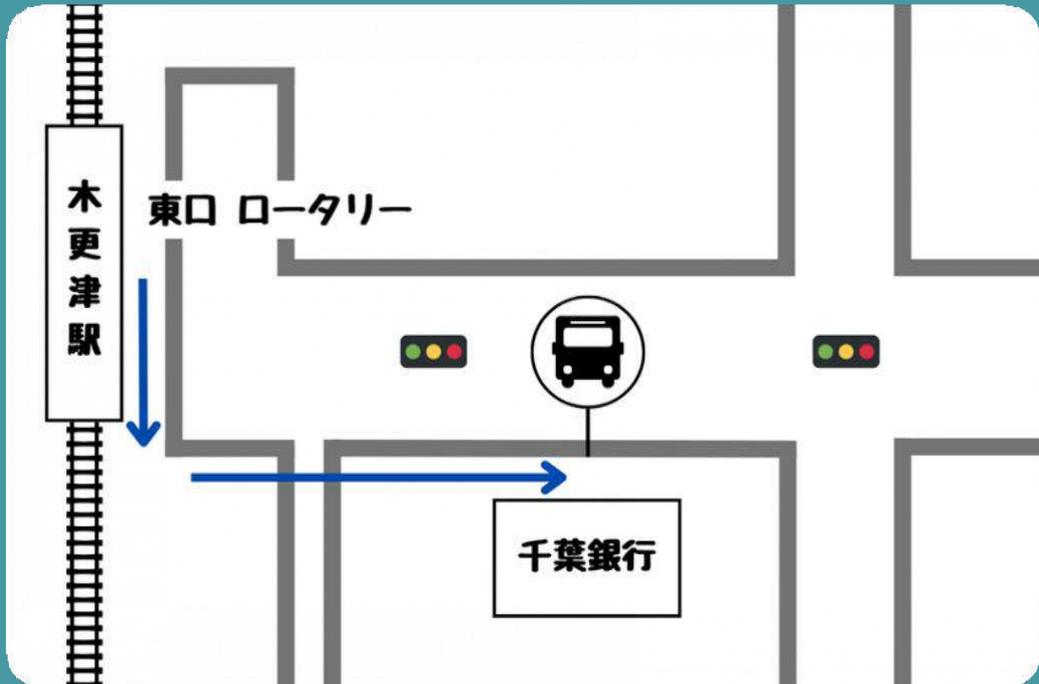




ダーナ

当日、会場で参加表を記入して受付で配布物と交換してください

無料送迎バス案内図(木更津駅) バスの時刻はHPでご確認ください



県内学校ミニ・ニュース(横芝光町立光中学校)

平成18年3月27日、横芝町と光町が合併し横芝光町が誕生しました。本町は、南北に細長く、南は太平洋に面しており、各産業のバランスのとれた町です。

本校は、南条、東陽、白浜、日吉の旧中学校を統合して昭和35年4月に発足しました。5万㎡の広大な校地に、校舎、野球場、陸上競技場、庭球場、体育館、部室棟等が整備され、恵まれた環境です。しかし、生徒数は徐々に減少しており、現在全校生徒250名の学校です。



令和5年度からチーム担任制を導入しました！

☆チーム担任制とは…

学級担任を固定せず、各学年に配当された教員が一定の期間で交代しながら学級をチームで担当します。



チーム担任制の目的は・・・

- 生徒、保護者が相談する教師を選択でき「どの先生にでも相談できる」を実現する。
- 複数の教師が担任となることで、生徒一人一人の変化に気付くことができたり、多くの面から生徒の良さを認めたりできるようにする。
- 教職員の働き方が多岐にわたる（育児、介護、体調等）中でも柔軟に対応し、安定した教育活動ができるようにする。

チーム担任制の運営方法は・・・

- 学級担任が代わるサイクルは1週間から3週間など学年の状況や行事によって変えています。
- 「学級事務担当」を配置して、各学級の出席簿や通知表、提出物等の管理を行います。
- 教育相談（生徒対象）・定期面談（保護者対象）は、生徒や保護者が面談する教師を選択して、面談を実施します。
- 日常的な質問や要望は、特に教員の指名がなければ窓口は学年職員で分担して対応しています。

<現在の様子>

- ・チーム担任制を導入し、今年度で3年目になります。職員はいろいろな学級の担任になることで、生徒の様子や学級の様子がわかることが多いようです。生徒同士のトラブルに関しては、学年の全職員がチームとして関わり、問題解決に取り組んでいます。
 - ・今まで以上に、職員間の情報共有の大切さを感じます。そのため、授業の割り振りを工夫し、勤務時間内に学年会を設定して学年職員間の情報交換を行うようにしています。
- また、コミュニケーションツールとして「Teams」を活用し、生徒の様子について、全校職員で情報共有をしています。



校舎全体写真